

大学を批判したら「無期停学」!?

ふざけんじゃねえ!



武田雄飛丸
(国際文化学部3年)



田中優子総長



原発御用学者

法大生・武田君への処分とは何か？

私たちが連日この法政大学で撤回を求め、批判している「学生への処分」「法政大学当局による弾圧」とはどういったものなのか？ 10年に及ぶこの法大闘争を1枚のビラ、1回の演説で全てを知らせるのは難しいことです。今回のビラでは私たちが怒り、声をあげるキッカケの一つとなった武田君への処分について皆さんに訴えたい。

現在の文化連盟委員長・武田雄飛丸くんは処分される前から、大学当局が学生との話し合いや討論を一切無視して政治的なビラまきや立て看板の禁止し、それらに抗議した学生への処分などに対して「これはおかしいんじゃないか」と声をあげてきました。「おかしいことはおかしい」と大学のやり方を批判する武田君は、当時から法大当局に目障りだと思われていました。学内で闘う武田君に対し法大当局が処分を狙うなかで、3・11の東日本大震災と原発事故が起きました。

「直ちに影響はない」「安全だ」と叫ぶ政府や東電の意を汲むように、法大当局によって放射線影響研究所理事長・

教室前で武田君の入室を妨害する弾圧教授と職員



**原発御用学者の授業を
防衛する弾圧教授たち**



武田君を暴力的に排除!

写真=2012年10月6日(外濠校舎)

文化連盟

法政大学文化連盟(委員長・武田雄飛丸)

【メール】 bunren08@yahoo.co.jp 【HP】 <http://08bunren.blog25.fc2.com/>

大久保利晃の講演会が学内で企画されました。「健康に生きるために」という授業をすべく呼ばれた大久保の主張は、「100ミッシーベルトまでは健康に影響ない」という、政府や東電を守るべく被曝や原発事故を矮小化し、福島の人々を切り捨てる到底許せないものでした(100ミッシーベルトなんて原発作業員ですら想定されていない被曝量だ！)。

現在、福島の子どもたちの甲状腺ガンの数が増え、こういった御用学者の主張が今も避難している福島県民への保障打ち切りに利用されていることを思うとあらためて怒りが湧きます。原発御用学者にお墨付きを与えているのは、電力会社から多額の原発マネーを貰っている大学です。大久保の講演会に対し、武田君は「こんなのはおかしいじゃないか」「この講演会に出て質問しよう」というビラをまきました。そして当日、武田君が大久保の講演会に行ったところ、法大の職員・教授は大人数で待ち構えて武田君が教室に入るのを妨害(写真＝表面)。最初は職員も「学部が別だから入れない」などと言っていました

たが、最後には本性をむき出しにし、「反対意見を持った学生は入れない」と抗議する武田君を暴力的に学外(!)に叩きだし、あまつさえ「授業妨害」などと言ってこの件を武田君への無期停学処分としたのです。(そもそも武田君が授業に出る妨害をしたのは法大当局じゃないか！)

こういった大学の現実に怒り、私たちは毎日闘っています。しかし、これはほんの一例に過ぎません。他にも大学のあり方に抗議し多くの学生が処分されました。

今も私たちと一緒に闘っている学生がいます。声をあげる学生を処分によって屈服させる今の大学のあり方が、労働者が切り捨てられ貧困に叩き落されても声をあげさせない今の社会を作る大きな要因になっています。その一方で、法大闘争を見た多くの人々が自分の大学や職場で団結して声をあげています。希望はここにあります。この現実を変えましょう。武田君への処分を撤回させましょう。4・28の法大デモに注目をお願いします。

4/13韓国総選挙 青年の怒りで与党惨敗!! 次は安倍だ!!

若者 職も希望もない

2016 総選挙

国会は停滞 法案通らず
失業率最悪「いっそ海外へ」

韓国では青年失業率が過去最高に達し、輸出も低迷している

4月14日付 読売新聞

強権に反発 予想外の惨敗

韓国総選挙 与党転落

若者らの怒り 読み切れず

朴근혜 정권은
매국적'위안부' 합의
당도 폐기하라

4月15日付 東京新聞

4月13日の韓国総選挙で、パククネ政権・与党セヌリ党が大惨敗し、少数与党に転落しました。戦争と貧困に対する青年・学生怒りの反乱です。韓国では若年層の失業率は過去最悪の12.5%を記録し、若年層の失業者が56万人にのぼっています。韓国メディアも「恋愛、結婚、出産など当然享受されるべき夢と希望さえ失った、…20～30代の若者たちの怒りが爆発した」(14日付『ハンギョレ新聞』)と報道しています。

日本の青年・学生の現実もまったく同じです。7月参院選で安倍政権を打倒し、『新たな労働者の政党』をつくろう！